

注目素材

海洋由来素材

●リカメン

HDLコレステロール、中性脂肪高、血圧他の改善効果

リカメンに用いられる魚は北大西洋の深海2000mに棲息するタラ科魚類のリングフィッシュ。地球上で最も汚染の少ない海域のしかも安全性の極めて高い食用魚である。その頭部と内臓を自身の持つ酵素で加水分解することにより得られた天然発酵物がリカメンである。非常に同化・吸収性にすぐれた低分子ペプチド・ポリペプチドを高含有し、DHAやEPA、さらにはアミノ酸でキレートされたセレン、ビタミンEなどから構成されているのが特長だ。フランスではパリ大学医学部教授（当時）モーリス・クロアレック氏が筆頭となり、1980年から研究が開始され、循環器、抗ストレス、学習能力、記憶機能、ダイエット、持久力、スピード能力といった作用が長年の研究から裏づけられている。

なかでも、第4回（カナダ）、5回（大阪）国際循環器予防会議では、11年におよぶ長期投与試験の結果が報告されている。心臓血管リスクの少ない患者それぞれ108名に対してリカメンを11年にわたり1日4カプセル投与したところ、HDLコレステロールは有意に上昇し、総コレステロール、LDLコレステロール、VLDLコレステロール、最大血圧、最小血圧に関しては有意な減少を示し、中性脂肪に関しては大幅

な減少を示した。（図1参照）

また、62名のアテローム性血栓性動脈硬化患者に対して、リカメン投与による平均頸動脈IMT（動脈壁の厚さ）の経時変化を無作為二重盲検試験により調べたところ、プラセボ、魚油（EPA+DHA）投与群に比べてリカメン投与群では、IMTの有意な減少がみられ、リカメンの改善効果が示された。（図2参照）

これらのことから、リカメンには、中性脂肪、コレステロール（HDL、LDL）、高血圧の改善効果が示され、心疾患にも有用な素材であることが確認できた。

図1 長期投与の推移

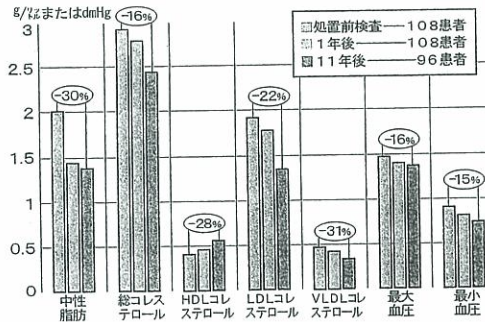
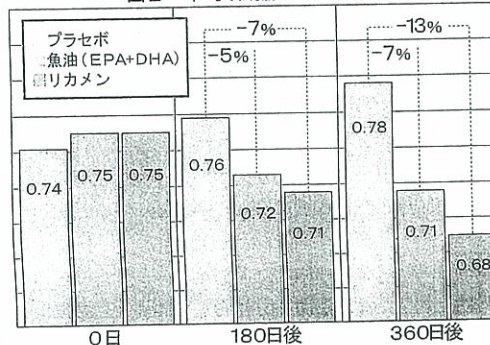


図2 平均頸動脈IMTの推移



●問合せ先

(株)ニュートリション・アクト

☎03-5475-7313